

在来家畜から沖縄の文化を見る

20期新報

高田勝先生講義



▼豚の性格が沖縄人のDNAで、ある「他人の子でも育てる」というと「ころに心が暖かくなりました。島マスのみみたいなや

シンボルキャラクター

「オカー先生」

深いシワは 優しさの年輪
笑顔は 肝清(チムチュ)らさ
足元を見つめ 生活を守り
命を限りなく
大切にするオカーは
誇れるひと



再生紙を利用しています。

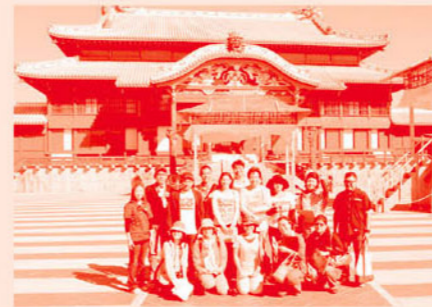
入塾案内書

願書用紙付き

2013年度 第21期

塾生募集

地域を知り 地域を愛し 地域を誇れる ひとづくり



広く
中部地域から



熱いハートを
求めます!!

- 建塾の日 1993年4月9日
- 開塾の日 1993年5月28日
- ◁入塾式 毎年4月9日
- ◁卒業式 毎年3月13日(島マス生誕の日)
- 所在地 〒904-0003 沖縄市住吉1-14-29
沖縄市社会福祉センター
TEL 098-937-3385 FAX 098-937-3422
E-mail masu@okicityshakyo.com
- 卒業生数 340名(男167名、女173名・第19期卒まで)

島マス記念塾

願書受付
1/15~
3/15

設置主体 沖縄市社会福祉協議会
運営主体 島マス記念塾塾務会
沖縄市住吉1-14-29 ☎098-937-3385
E-mail masu@okicityshakyo.com

島マス記念塾 検索



キャラクターデザイン
仲地 のぶひで
ロゴデザイン
和宇慶文夫

講義の様子がわかる「マス塾新報」は事務局にて配布しています。



塾長 名 嘉 隆 一

熱いハートを求めます！

「汝自身なんじの足下を掘れ、そこから泉が湧き出るであろう」。ドイツの哲人ニーチェの言葉です。

さて、私たちはどれだけ私たちが暮らすこの街のことを知っているでしょうか？

文化や歴史・人口・風土・環境などが異なる地球上のどんな地域にも、

独自の愛し誇れる大切な資源があります。あるいは眠っています。

そして、その資源こそ私たちにとってかけがえのない財産であり、宝物なのです。

もちろん、それを掘り起こすのはそこに暮らす私たちです。

当塾は、福祉の専門家を養成する塾ではありません。

社会福祉をはじめ、経済・産業・法律・医療など人間が生活を営むために必要なすべての事からについて、

「島マスの福祉哲学」のフィルターを通して、物事を捉えていく場です。

さあ！掘り起こせばきっと新しい感性が芽生えます。感性は可能性を育み、地域に活力を与えます。

クリエイティブな時代の建設をめざして…。

島マス記念塾は、熱いハートを持ったあなたを求めます！

建塾の趣意

21世紀まで秒読みという時期を迎えて今、社会福祉は大きく変わろうとしている。

すなわち、地域住民と密着した地方自治主導型の方向に沿って、社会福祉関係法が改正され、とりわけ老人ホーム等への入所措置権の町村移譲により、在宅福祉と施設福祉を市町村において総合的に実施する体制が新たに構築されることになった。さらに老人保健・福祉の総合的展開を図るために、市町村では、目下老人保健福祉計画の策定に取り組んでいるところである。

平成5年はまさにこれらの施策が実施に移される極めて重要な年であり、このなりゆき如何は地域住民の福祉に直接かかわるだけに公私の関係者の協働で住民の意識の啓発、高揚並びに住民自らが実践し、活動することができる各種の事業を積極的に展開することが強く求められている。

このときにあたり、私たちは地域を知り、地域を愛し、地域を訪れる人材を創出することを目的とし、戦後沖縄の社会福祉の歴史を象徴する故・島マスを顕彰する記念塾を設立を決意した。

島マスは戦後沖縄の抱える複雑な社会問題に果敢に取り組み、地域福祉活動の礎を築き、多くの人々にはかり知れない影響を与えた人である。私たちは、島マスの福祉哲学を踏襲するなかで県内外の一流の講師陣から社会全般にわたる知識並びに理念を習得した塾生を輩出することにより、平和・福祉・文化を基調とする、人と人が支え合う福祉社会の形成に寄与することを確信するものである。

よって、ここに「島マス記念塾」の設立を発起する次第である。

平成5年4月9日



島マス記念塾に入塾しての感想

～20期生へのアンケートより抜粋～

島マスに入ってすぐの頃に、夏季キャンプをしたおかげでみんなとすぐに仲良くなれて良かった。講義も面白くて、ためになっています。マス塾には大大満足です。

1年間楽しんで、塾生の皆と協力し合いながら学びたいと思います。講義は為になります。普段聞けない話や、身近な事で当たり前に考えていた事を、違う視点で考えさせられたり、自分の身に降りかかった場合の事を想定したり・・・これからも講義が楽しみです。



島マスに入塾して感じたことは、「自分の興味や関心の幅を自分で決めてはいけない」ということです。興味のないジャンルの講義でも、受けてみると面白かったり、いままでも触れる機会がなかった分野の先生のお話を聞ける環境は、多方面からの視点で物事を捉えられてとても新鮮です。

今まで、世間知らず、沖縄知らずの私でしたが、マス塾に入塾してから、これまで目をそめていた、あるいは自分の中になかった概念に触れることができました。私の人生の中でもものすごい進歩だと思っています。

講義は講師の先生方が多彩な顔ぶれで本当に楽しいです。勉強になることも多く参加して大満足です。20期生については、皆さま活動的で、先輩方にも誇れる頼もしい仲間が集い、島マス記念塾史に名が残るのではないかとと思っています。



素晴らしい講師！受講生の緊張感！！素晴らしい！！多種多様ないろいろな講義があり、自分自身体験していない分野やジャンルもあり、講師との質疑応答などで質問すら考えきれないほど頭がいっぱいになったり、もやもやしたりするのですが、刺激になっていい感じ！大人になって、このような体験ってあまりない！と思います。



講義の内容にはとても満足しています。合宿やフィールドワークも楽しい経験ができました。時間が経つのがあっという間なので、どんどんいろいろな事を企画して楽しんだ方がいいなと思いました。

塾生や事務局の貪欲に日々を楽しんでいる姿に感銘を受けました。私にとって、新しいチャレンジは、出来上がってしまった日常の歯車を狂わすことなので、少し腰がひけてしまいがちです。でも、いったん身を乗り出してみると、すごく楽しいもので、いままでもいちいち頭でストップしていたことがもったいないと感じました。少し前のめりに、行動を起こす。そういう姿勢になっていけるよう、今後多くのことを島マス塾から学んでいきたいです。



福祉って、生真面目なイメージでしたが、マス塾でそうじゃあないんだ、こんなあたちもいるんだと、ちょっとびっくり、こんなあって、どんなあ？と思うはずですが、百聞は一見にしかずという言葉もあります。経験してみてください。きっと面白いはずです。



大満足。己のアンテナが働いていると興味ある事柄は自ずと私の前にやってくる。それ故に興味のある講演会などへは自ら参加している。しかし、塾では興味の有る無しに関わらず講義が組まれているので、必然的に受講することになる。それが面白いですね。自分で選んでない内容の毎回の講義が楽しいです。

「飲みにケーション」がサイコーです。講義に対する話あり～の雑談あり～の、講義の中でも飲みにケーションでも、異なる職種や性格から出た意見は様々でとても楽しいです。

塾生の様々な意見やアイデアを自らキャッチするか否かは己の行動力。島マス記念塾に参加して来ただけあり、殆どの塾生が積極性に優れていると思う。労力を惜しまず力を貸してくれる仲間が大好きです。ありがとうみんな！

島マス記念塾

2013年度塾生(第21期生)募集要項

- 募集人員 おおむね25名
- 受講期間 1年間(2013年4月9日入塾式～2014年3月13日卒塾式)
- 募集期間 2013年1月15日～2013年3月15日
- 応募要領 入塾願書(所定のもの)1通を申し込み時に提出する。
※原則として、本人が記入すること。なお、願書は返却しません。
- 入塾資格 当塾の趣旨に賛同する者で、以下の要件を満たす者。
※原則として、①年齢満20歳以上45歳以下の者。
②沖縄市に住んでいる者。もしくは沖縄市で就労している者。
ただし特別枠として、③本島中部地区市町村内に居住し、社会活動及びその他で沖縄市を拠点として活動している者、あるいはそれを志している者。
- 受講料 年間25,000円
※原則として、全額を前納とします。ただし特別な事情に限り、初回分・10月期と2期に分けて納めることも可能とします。
①受講料(全額もしくは分割による初回分)は、オリエンテーション(3月28日)に納付となります。
②他に、特別講義等で実費負担する場合があります。
③いったん取めた受講料は、返金しません。
- 入塾説明会 入塾について詳しく知りたい方は、次の入塾説明会に参加してください。
とき **2013年3月7日(木) 午後7時30分～8時30分**
ところ 沖縄市社会福祉センター2階会議室①

- 講義内容 塾は毎月2回(原則として隔週の木曜日、19:30～21:50)・1日2コマ(年間約50コマ)行います。基本的なスタイルは一般講義形式とフリーディスカッション形式です。他に①キャンプセミナー(夏季と秋季)、②各種グループツアー(フィールドワークⅠ～Ⅲ)を開催します。
〔講義リスト〕①総論【島マス論】、②社会福祉、③産業・経済、④文化、⑤歴史、⑥コミュニティビジネス、⑦地域づくり、⑧物づくり、⑨その他(キャンプセミナー、グループツアーなど)
- 入塾選考 応募者多数の場合、提出書類を元に書類選考を行います。また、必要に応じて問い合わせや面接をすることもあります。
- 選考結果 選考結果は3月22日までに電話・メールもしくは文書でもって通知します。
※原則として、合否の問い合わせには応じられません。
- 体験入塾 将来、入塾を希望される方を対象に一日体験入塾を実施しています。「体験」は無料です。詳細は下記のホームページか直接事務局までお問い合わせください。
- 問合せ先 〒904-2171 沖縄市住吉1-14-29 TEL 098-937-3385 FAX 098-937-3422
E-mail masu@okicityshakyo.com
沖縄市社会福祉センター内
社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会「島マス記念塾」事務局まで
- 注意事項 ①応募書類に不備や記入漏れがあるときは、応募を受け付けません。
②出願書類の記載事項に不正があった場合は、入塾を取り消す場合があります。
※詳しい内容はホームページをご覧ください。「島マス記念塾」で検索できます。



島マス記念塾2013年度 講師スタッフ

■ 専任講師
□ 講師

●プロフィール
①生まれ年②出身地③現住所④所属機関・団体名、役職名⑤座右の銘・信条など⑥その他(著作物・論文・研究テーマなど)

※五十音順
※テーマはすべて仮題です。
※講師は都合により変更される場合もあります。



ディベート大会「17期」



やびく いさお
屋比久 功

テーマ
ディベート入門①②
-スリリングな世界へあなたを誘う-

①1958年10月18日②沖縄市③沖縄市照屋④沖縄市市役所健康福祉総務課主幹、「ふくふく童話大賞」第一次選考委員⑤沖縄県地域作りアドバイザーとしての経験を活かし、沖縄の風土に根差したオキナワディベート道を探求中。



いけま てつろう
池間 哲郎

テーマ
懸命に生きる人々
-日本人こそ学んで欲しい-

①1954年3月13日②宮古島③東京都大田区④一般社団法人アジア支援機構代表理事⑤「最も大切なボランティアは、自分自身が一生懸命生きること」が信条。⑥著書に「あなたの夢はなんですか 私の夢は大人になるまで生きること」、「アジアの子供たちに学ぶ」、写真集に「モンゴル風と泪」、DVD「懸命に生きる子どもたち」など多数。



やまうち よしちか
山内 嘉親

テーマ
地域の働く人をバックアップし商品を創り出す手法

①1966年②③読谷村④読谷村役場商工観光課⑤読谷村の「もずく井」「カレーになりたいトウガンくん」「とうがんパイ」などの商品開発に行政の立場から関わる。



おんが たかし
恩河 尚

テーマ
首里城と東アジア社会

①1953年9月17日②沖縄市③北中城村喜舎場④元沖縄県地域史協議会代表、北中城村文保審、コザ戦後地域史研究会会員、沖縄市総務部主幹<市史編集担当>⑤研究「<コザ>の時代を考える」など多数。



講義風景「17期生」



ふじき はやと
藤木 勇人

テーマ
沖縄を物語る

①1961年②コザ市(現沖縄市)⑥うちなー囃家として、一人ゆんたく芝居「うちなー妄想見聞録」「南島妄想見聞録」「異聞ボード事件」など、沖縄県内・県外公演を中心に、各地での芝居公演の他、テレビ・ラジオ・CM・ドラマでも活躍中。島マス記念塾6期卒。



しまづみ よし
嶋 津与志

テーマ
コザからみた沖縄現代史

本名:大城将保①1939年10月18日②玉城村③南城市玉城百名④沖縄県史編集委員、沖縄市史編集委員⑥著書に「沖縄戦の真実と歪曲」、「修学旅行のための沖縄案内」、脚本に沖縄市民ミュージカル「コザ物語」。



フィールドワークⅠ「バリアフリー体験ツアー」(18期生)



卒塾式「18期」



たけふじ のほる
竹藤 登

テーマ
成年後見制度—地域で安心して暮らせるためのシステム—

①1955年②大阪府③宜野湾市我如古④琉球リハビリテーション学院教務部長、一般社団法人沖縄県社会福祉士会会長⑤成年後見活動を実践しつつ、福祉人材育成を頑張っています。



なかみ りゅういち
名嘉 隆一

テーマ
島マスの人生と福祉—その精神を継承する島マス記念塾—

①1937年3月21日②北大東村③沖縄市字宮里④社会福祉法人 基督教児童福祉会愛隣園理事長⑤編著に「27度線の南から 沖縄キリスト者の証言」、教会形成の模索、戦後の沖縄における教会の歩と回顧—苦難の中での平和の願い—教会はどこに立つのか—基地の街の協会の歩みを通して



きんじょう せいげん
金城 盛順

テーマ
沖縄での物づくり

①1946年②那覇市③うるま市④沖縄県金型技術研究センター長、財団法人もの作りネットワークおきなわ理事⑥金型理論論文多数あり、県内外各地で公演活動を行っている。



なかむら さよこ
仲村小夜子

テーマ
障害と生活の質
—豊かな暮らしを求めて—

①1950年代②宮古島市平良③北谷町④沖縄大学、琉球リハビリテーション学院等非常勤講師⑥「>、=、<」をキーワードに、「生活の質の保障・向上」を研究中です。島マス記念塾3期卒。



フィールドワークⅢ「首里城探訪ツアー」(19期生)



2011.11.29 18:00
秋季キャンプセミナー「プロジェクトアドベンチャー体験」



ひらたけんじろう
平田健太郎

テーマ
島マスの福祉哲学
「コザの社会とチムグリサンの心」

本名:富永健①1953年8月30日②久米島③沖縄市安慶田④沖縄市役所企画部参事兼政策調整室長、コザ地域史研究会幹事長、小説家⑤信条「色即是空 空即是色」⑥著作物小説「ホメロスの歌」「整形病棟703号室」「蜉蝣の日」、他。



まえかわ しゅけん
前川 守賢

テーマ
暮らしの中に島言葉—琉球いろは歌—

①1960年1月28日②コザ市③沖縄市大里④民謡歌手、作詞・作曲家、役者、司会者、元チャレンジャー芸能オフィス主宰⑤ラジオ・テレビ・CM等多数出演。代表曲に「かなさんど」「遊び庭」など多数。在宅寝たきり高齢者への慰問などボランティア活動にも取り組み2010年第32回琉球新報活動賞(社会活動)を受賞。



フィールドワークⅢ「首里城探訪ツアー」(18期生)



みやま ひろゆき
宮城 弘岩

テーマ
時間の開発と経営

①1940年3月31日②南風原町③那覇市古波城④(株)沖縄物産企業連合代表取締役会長、沖縄大学非常勤講師、アジア・沖縄経済研究所代表⑤「沖縄発本土行き」を提唱し、非価格競争のあるビジネスづくりを信条とする。⑥著書などに「沖縄の物産革命」、「沖縄の自由貿易論」、「ポスト香港と沖縄」、「沖縄を越えるもの」(共著)、「沖縄発の時代」、その経済原論を探る、「中国近代市長の形成」など、沖縄振興に関する論文多数。



しまぶくろ としき
島袋十史樹

テーマ
目からウロコのコーチング
~タイプに合わせたコミュニケーションの手法~

①1967年6月17日②那覇市③那覇市首里④プラスコミュニケーションズ代表⑤コーチングによる業務改善、企業風土の改革、各種トレーニングや個人の目標達成支援を行っている。



たかだ まさる
高田 勝

テーマ
動物を利用した地域づくり

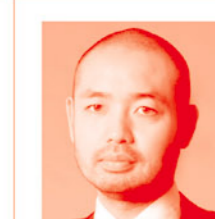
①1960年②東京都③沖縄市胡屋④(財)沖縄こども未来ゾーン運営財団施設長・専務理事⑤信条は「ヒヤミカチ ウキリ」⑥「鶏と人」(共著)、「鳥学大全」(共著)、国際地理学会日本養豚学会、人と動物の関係学会など発表。研究テーマは、生きもの文化誌、人と動物の関係。



まつもと つよし
松元 剛

テーマ
沖縄の実像を伝える発信力
—基地問題の深層と命の重さの二重基準—

①1965年②那覇市③那覇市④琉球新報編成局政治部長⑥基地問題がライフワーク。雑誌「世界」でコラム「沖縄(しま)という窓」を隔月連載。共著に、「沖縄自立への道を探る」、「観光コースでない沖縄」など。島マス記念塾4期卒。



きむら たつろう
木村 達郎

テーマ
琉球ゴールデンキングスの軌跡

①1973年②東京都③那覇市④沖縄バスケットボール株式会社代表取締役社長兼GM⑤琉球ゴールデンキングスは「沖縄をもっと元気に」を合言葉に、スポーツの潜在的可能性を最大限に引き出し、より良い社会の形成に貢献することを理念に活動中。



島 マス（與那覇朝大・画）

- 1900年 美里間切伊波村に生まれる
- 1919年 沖縄県女子師範学校本科第一部卒業、同年国頭郡山田尋常高等小学校訓導となり、1948年大洋初等学校を退職するまで29ヵ年余教鞭を執る
- 1948年 越来村駐在の厚生員に就任する。これを振り出しに生涯を社会福祉事業に尽くす
- 1952年 胡差児童保護所を設立
- 1953年 コザ女子ホームを設立
- 1958年 中部地区社協の事務局長に就任
その後、市社協理事、市赤十字奉仕団委員長、中部地区老人クラブ連合会副会長、県更生保護婦人会初代会長、社会福祉法人こぼと福祉会理事長等数々の要職を歴任
- 1988年 7月8日永眠

◆ 表彰等 ◆

勲六等宝冠賞、全国老人クラブ連合会長賞、県功労賞、沖縄タイムス賞、琉球新報賞など60余の表彰を受ける。

更生の母に贈る詩

お母さん あなたの尊い心が
きらきら輝いています
愛と夢をもぎとられ
悪の吹き溜まりへと
引きずられたあわれな幼魂に
心のぬくもりと人の道を開いて
優しくさとしてくれたあなた

お母さん あなたの成す業が
きらきら輝いています
己の生活をも捨て
日夜地獄の底をさまよう幼魂に
限らない愛と生きる喜びを
さとした寛大なあなた

お母よ あなたのはぐくむ果てなき愛は、
あわれ傷心のさとりを知らぬ幼稚な者らに
博愛の心を開き安らぎを与え
悪を成す業を心から憎み
正道を愛した勇氣あるあなた

お母よ あなたの愛は
新しい愛の息吹を注ぎ
見事に芽生えました

お母よ あなたの愛は尊く
その業は偉大でした

お母さん 心の愛をありがとう

お母さん（島マスさん）どうぞご無理をなさらずにいつまでも元気でいて下さい。もつともつと長生きして人道を踏みはずした子供たちのために、変わらぬ愛の言葉で育んでやって下さい。私は何もお役に立つことはできませんが、陰ながら声援しています。女子ホームを出てから二十年余になります。私はこれからもまじめな心で生きていくようにがんばります。ご安心下さい。

※この詩は、一九七九年島マスが琉球新報賞を受賞したとき、女子ホーム出身の「子」が氏にあてた匿名の新聞投書です。



カット・安仁屋政汎

塾 是

塾は島マスの福祉哲学を
継承発展させずしての人々が
幸福に暮らしていける
まわりの人に貢献する。

塾 訓

塾生は、万事研修の心で
臨み、地域を知り、地域を
愛し、地域を誇れる人と
なることに努める。

島マスの福祉哲学

「チムグリサン」の心

- 「あらゆる福祉課題に身を投じた積極性と寛容性
- 「この社会に存在するすべてのものは必ず相互に關連しあっている」という共生の精神
- 「口かなる人も食によりて生命を存す」といいたずらな福祉空論を避けた現実的・合理的生活主義
- 「福祉は人であり人こそ福祉である」とする人間性||福祉本位主義

基地の街の福祉に生きて

〈島マスの言葉〉

貧乏神は、ずつついて回りました。

※ 売春はたしかに悪い、悪いことは誰でも知っています。(中略)「売春をやめる」ということは簡単です。しかしこの人たちに、本当に自立できるような仕事を与えてやるのが先決です。私の役目はそれではないかと考えました。

※ 行くあてのない児童たちを、ただちに引き取ってくれる施設はありませんでした。このまま放置することはできません。私は「心の痛み」にたえかねてこの子たちを自分の家へつれてきて面倒を見ることにしました。そうするしか方法がなかったのです。私の家族と周囲の者の悪戦苦闘がここから始まることになりました。

※ 私は、妻としては失格だと思いました。

※ 私が、沖繩婦人連合会の理事に推せんされたとき「シラミと同居しているような女性は、理事としてどうかと思う」という声もあつたそうです。この話をきいたとき、「私のしごととは認められた」と思つたものです。私がシラミと同居していることが那覇まで聞こえているとは、私も有名になつたものです。

※ 福祉をすすめるのは人です

※ インテリのかたには、とくに若いインテリには、ポランティアを毛嫌いな人もいます。善意の押し売りはいやだと言うのです。しかし、これはぜいたくというものです。

※ 十二分に食べていて、余り物をもつたをつけて恵むというのは、たしかにいやみですが、しかし、飢えている者にとつては、食べ物が必要なのです。私は、敗戦後のコザの街で、物乞いのようなことまでして、子どもたちの命を守つてきました。相手がアメリカさんであるうと、お隣の人であるうと施しを受けてきたことは事実です。そして、私はこの人たちに感謝してきました。

※ 沖繩の方言でいう「チムグリサン(心が痛む)」というこゝとばに、私は感動します。上から恵むのではなく、自分も腹をすかしていながら、少ない食事のなかから分けてやらなければ「自分の心が痛む」という、沖繩の民衆の心のありやうに感動するのです。
私は、この心を、たいせつにうけつぎ発展させたいと願っています。

私たちは、この本が一人でも多くのかたに読まれることを期待します。そして、島マス先生の志を継いでいく若い人たちが育ってほしいと心から願います。

鳥マス先生は伊波の小学校から美里の高等科へ進まれたとき

行きぐりしゃ^く苦りしゃ^{あんなやまぐしく}楚齋山城
ゆくん行きぐりしゃ^く栄野比川崎

という琉歌を思い出したそうです。美里への通学路は、橋のない川をわたる難所であったということです。鳥マス先生の福祉の道は、まさに橋のない川を渡り、そこに新しい道をつけていく苦難なお仕事でした。こんどは、私たちが、バトンタッチをしていく番です。

＝あとがきより〈抜粋〉＝

(鳥マス先生回想録編集委員会編)



頒価 ￥1,800

入塾願書

島マス記念塾カリキュラム

【講義】 入塾式・・・2013年4月9日(火) 卒塾式・・・2014年3月13日(木)

時間割	内容	時間	備考
第1時限	講義Ⅰ 主として講師による講演〔講師→塾生〕	19:30～21:00	1コマ
第2時限	講義Ⅱ (講義に関する)フリーディスカッション・質疑応答など〔講師⇄塾生〕	21:10～21:40	1コマ
第3時限	YUNAGATA会議 塾生会活動など〔塾生⇄塾生/塾生⇄事務局〕	21:40～21:50	—

日付	テーマ	講師名
4/11(木)	島マスの福祉哲学「コザの社会とチムグリサンの心」	平田 健太郎
25(木)	琉球ゴールデンキングスの軌跡	木村 達郎
5/23(木)	コザから見た沖縄現代史	嶋 津与志
6/27(木)	障害と生活の質＝豊かな暮らしを求めて＝	仲村 小夜子
7/11(木)	沖縄での物づくり	金城 盛順
25(木)	沖縄の実像を伝える発信力＝基地問題の深層と命の重さの二重基準＝	松元 剛
8/29(木)	成年後見制度＝地域で安心して暮らせるためのシステム＝	竹藤 登
9/12(木)	時間の開発と経営	宮城 弘岩
26(木)	暮らしの中に島言葉＝琉球いろは歌＝	前川 守賢
10/10(木)	ディベート入門①＝スリリングな世界へあなたを誘う＝	屋比久 功
24(木)	首里城と東アジア社会	恩河 尚
11/14(木)	ディベート入門②＝模擬ディベート＝	屋比久 功
12/12(木)	懸命に生きる人々＝日本人こそ学んで欲しい＝	池間 哲郎
26(木)	地域の働く人をバックアップし商品を創りだす手法	山内 嘉親
1/9(木)	動物を利用した地域づくり	高田 勝
23(木)	沖縄を物語る	藤木 勇人
2/13(木)	島マスの人生と福祉 ーその精神を継承する島マス記念塾＝	名嘉隆 一
27(木)	実践・ディベートvol.50	コーディネーター 大田 義浩

【フィールドワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ】

日付	名称	内容	時間	ツアーガイド
6/8(土)	「バリアー」体験学習ツアー	沖縄市胡屋商店街周辺など	13:00～18:00	親川 修
8/10(土)	コミュニティビジネス視察ツアー	地域づくりの実践事例紹介及び視察など	13:00～18:00	親川 善一
10/26(土)	首里城及び周辺歴史探訪ツアー	首里城、金城町石畳道、玉陵、識名園など	13:00～18:00	恩河 尚

【キャンプセミナー】

日付	季別	内容	時間	コーチ等
5/11(土) ～5/12(日)	夏季 (つづじエコパーク泊)	セミナーⅠ PA(プロジェクトアドベンチャー)実践 セミナーⅡ 地域づくりの実践事例視察 交流会 (直前卒塾生<第20期>・塾生・塾務会委員)	10時出発 ・ 13時到着	I PAファシリテーター II 東村内
11/23(土) ～11/24(日)	秋季 (むら咲むら泊)	セミナーⅠ 十式コーチングの理論と実践 セミナーⅡ コーチング体験 交流会 (直前卒塾生<第20期>・塾生・塾務会委員)	13時出発 ・ 13時到着	島袋 十史樹

※カリキュラムは講師の都合により変更される場合もあります。この場合講師間の移動となり、日程の変更はありません。

島マス記念塾塾則

- 目的
- 第1条 本塾は、戦後沖縄の社会福祉の歴史を象徴する島マスの足跡をふまえて、変容する社会を捉えつつ、地域を知り、地域を愛し、地域を訪れる人材を創出するとともに、人と人が支えあうまちづくりの拠点とし、新たな福祉社会の形成に寄与することを目的とする。
- 名称
- 第2条 本塾の名称は、島マス記念塾(以下、「塾」という)とする。
- 事業
- 第3条 塾は第1条の目的を達成するために、塾生を募集し、必要な講義・講座等を開催する。
 - 塾の開講期間は1年とする。但し、塾生募集に関する詳細は、別に定める。
- 設置主体
- 第4条 塾の設置主体は、社会福祉法人沖縄市社会福祉協議会(以下、「社協」という)とする。
- 運営主体
- 第5条 塾の運営主体は、塾務会とする。
- 塾務会
- 第6条 塾務会は委員8人以上で組織し、社協会長が委嘱する。
 - 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 役員
- 第7条 塾務会に塾長及び副塾長をそれぞれ1名おく。
 - 塾長及び副塾長は、委員の互選により選出し、社協会長が任命する。
 - 塾長は会務を統括し、塾を代表する。
 - 副塾長は塾長を補佐し、塾長に事故がある時はその職務を代行する。
- 役員
- 第8条 塾務会は、次の事項について審議する。
 - 塾の事業計画並びに予算に関すること
 - 塾のカリキュラム並びに講師の選定に関すること
 - その他、塾運営について必要と認められる事項
- 専門委員会
- 第9条 塾務会には必要に応じて専門委員会を設置することができる。
- 後援会及び塾友会
- 第10条 塾の活動を幅広く行うために、後援会及び塾友会を置くことができる。
 - 後援会及び塾友会に関する詳細は別に定める。
- 事務局
- 第11条 塾務会の事務局を、社協事務局内におく。
- 会計年度
- 第12条 塾の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 経費
- 第13条 塾の運営に要する経費は、次の収入をもってあてる。
 - 受講料 (2) 補助金 (3) 寄付金 (4) その他
- 委任
- 第14条 この塾則に定めるもののほか、必要な事項は社協会長が別に定める。
- 附則
- この塾則は、平成4年3月16日より施行する。

		※受付番号	
フリガナ		昭和 平成	年 月 日生
氏名	印	満 歳	
住所	〒 ー	携帯電話	ー ー
		自宅電話	ー ー
E-mail	□パソコン □携帯		
勤務先		職名	
		職歴	年 月
所在地	〒 ー	電話	ー ー
趣味		特技	
自己PR			
血液型			
志望の動機			
塾を何で知りましたか	①知人・友人 ②卒塾生 (さんの紹介) ③インターネット ④パンフレットを見て (どこで見ましたか?) ⑤会社関係 ⑥新聞記事 ⑦その他 ()		

※在塾中の通信手段として、携帯電話やE-mailなどが必要となってきます。なるべくすべての空欄を埋めてください。
※この願書は、コピーして使用してもかまいません。(ホームページからもダウンロードできます)

- 注意事項
- ①応募書類に不備や記入漏れがある時は、応募を受け付けません。また、別紙は認めません。
 - ②出願書類の記載事項に不正があった場合は、入塾を取り消します。
 - ③これら提出書類等で知り得た個人情報は、当沖縄市社会福祉協議会が定める個人情報保護に関する方針(プライバシーポリシー)にのっとり、目的の範囲外で使用されることはありません。